

Allied Health Sciences

北里大学 医療衛生学部

2012年7月23日 発行

— 第 13 号 —



〒252-0373 神奈川県相模原市南区北里1丁目15番1号

TEL 042(778)8111(代) FAX 042(778)9628

http://www.ahs.kitasato-u.ac.jp

発行責任者：学部長 北里 英郎

医療衛生学部長に就任して

医療衛生学部長 北里 英郎



平成20年7月1日より2期4年間学部長をお勤めになった石原和彦先生の後を引き継ぎました、北里英郎と申します。教職員・学生の皆様とともに、「明るい風通しの良い学部」を目指したく、卒業生の方々もどうぞよろしくお願いいたします。

私は、1998年に、北里大学医学部に入職し、2004年より医療衛生学部にお世話になっております。1987年から9年間は、

若気の至りで、1年以上の留学は、帰国後に席がないと言われたにもかかわらず、欧州に飛びだし、本当に日本では、完全に忘れ去られました。留学中は、ヒトパピローマウイルス（HPV）の研究を行いました。ドイツ癌センターでは、2006年にノーベル賞を受賞したProf. Harald zur Hausenが所長で、月1回のミーティングは900人の研究内容や進捗状況を的確に把握しており、緊張の一日でありました。欧州留学中に知り合った仲間は、今でも何十年ぶりにあっても不思議に昨日会ったような感覚で盛り上がるができます。また、ドイツ癌

センターの所長をはじめとする著名な研究者の「Science」のみならず、知識の豊富さや、真の紳士の姿には感銘いたしました。帰国当初は、完全に浦島太郎状態で、地下鉄などの路線が増えすぎ、切符も買えなかったことを覚えております。本学部に異動させていただいてからは、社会に適合できたのではないかと思いますのでご安心ください。

皆様ご存じのように、医療衛生学部は、4学科6専攻を有し、1962年に開設された衛生学部を前身とする北里大学発祥の学部です。1994年に医療衛生学部へ改組してからも、既に5617名の卒業生を世に送り出し、医療系の幅広い分野で活躍していることが、学部の目に見えない最大の財産であります。

今後は、以下のことを中心に皆様とともに実現して行きたく、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

1. 学部校舎の建て替え

A1号館は1972年の衛生学部創設時からの建物であり、老朽

化が進み一日も早い建替えが望まれます。学部といたしましては、この機を逃さずに、現在、教育・研究の機能がA1、A2、A3号館に分散している状況を是正する為にも、新A1号館（仮称）に事務組織や教育・実習の場となる場所とし、現A3号館の研究スペースを大幅に改装・増加し、学部悲願であるA1・A3号館を機能的に統合した新校舎建設を目指す予定です。

2 学部の安定経営

先行きが不透明な社会情勢の中で、医療衛生学部は新校舎建て替えという大きな夢を実現しようとしています。そして将来的な現A3号館建替えに向けて再び準備を計画する必要があります。また、一方で18歳人口の大幅減が目前に迫っています。このことを踏まえて、学部として常に無駄を省き、少子化における入学者の質の確保、困窮学生の経済的支援を行い、高いレベルの知識と技術そして北里精神と母校愛を持った卒業生を輩出することで、今後の安定経営を目指したく存じます。

新校舎の設計の案が出来ましたら、ご報告申し上げますので、どうぞよろしくお願いいたします。

はみだし日記

◆ゲテモノ食い◆

小生は「ゲテモノ」が大好きです。国内では、蛙、白魚の躍り食い、スッポンの生き血、雀の丸焼き、ヒゲマ、トド、海外では、エジプトの鳩、インドやタイの怪しい屋台料理、オーストラリアのカンガルーやワニを食しました。

ドイツに住んでいたとき、スーパーでこれまで見たことのない不思議な牛肉を見かけました。円錐形で、底部の直径が5cmほど、高さが4~5cmあります。

塩胡椒で焼いてみました。強靱な線維が含まれており、フォークは刺さらず、ナイフで切りにくい！円錐の頂点から半分に切り開いたところ、円錐の中央には鉛直方向にダクトが貫通していることが分かりました。悪戦苦闘しながらスライスを作成し、口に入れてみたところ、スポンジのような食感。常日頃なじんでいる、親しみのある感触です。

ここで、私はハタと気づきました。この物体は雄牛のGlans penis（ペニス）である！このような神聖な部位を、じっくり焼いた上に、スライスして食してしまっただけ！複雑な思いが去来しましたが、コトコトと煮込んでグリーンラッシュ（パプリカ風味のハンガリー風シチュー）にして消化したことは言うまでもありません。



医療検査学科

Department of Medical Laboratory Science

■臨床検査技師

臨床検査技師は、チーム医療に不可欠な検査データを測定する専門職です。業務は、主に患者さんの検体、すなわち血液や尿などを対象とする「検体検査」と、患者さん自身を対象に行う心電図検査などの「生理検査」があります。主に病院で活躍していますが、製薬、医療、食品関連企業にも進出しています。

科介
学紹医療検査学科―他大学との差別化を
目指す独自の教育プログラム

教授 大部 誠

旧国立医療短期大学の多くが4年制大学に昇格し、かつ少なからぬ専門学校が4年制大学に移行しつつある現在、臨床検査技師養成大学として最も古い歴史をもつわが校としても安閑としてはられません。そこで、本稿では他校にはない独自の教育プログラムを紹介したいと思います。

①細胞検査士コース…平成5年医療衛生学部開設と同時に設置され、すでに201名の細胞検査士を輩出しております。

②テュートリアル教育…平成20年より導入致しました。3年次後期の1週間、1班5〜7名で感染症に関するテーマに取り組みます。教員は殆ど口を挟むことはありません。最終日に各班がまとめたスライドを約10分間で発表し、5分間討論します。討論では普段あまり手を挙げない学生も積極的に質問する姿がみられ、予想以上に大きな成果を挙げています。

③万全の国家試験対策…毎週月曜日午後は「臨床検査総論Ⅱ」と称

して国家試験対策講座を行っております。試験成績が下位25名に対しては土曜日の補講を課し、ご家庭には試験の成績、順位および教員のコメントをお送りしています。試験の度に成績不振者に対しては3人の教員が一人ずつ面接を行い、個人に合わせた指導を行っており、これは大きな成果を上げています。今後益々進む受験生の減少に対して優秀な高校生の獲得競争が激化することは必至です。ML教員が智慧を絞って今以上の方策を考え出さなければならない時期に来ていると思われます。



「テュートリアル教育」発表会風景

生介
在紹

細胞検査士コースを受講して

医療検査学科4年 才荷 翼



細胞検査学実習風景

技術などの講義を聴けたり、細胞検査士の学会に参加することができたり、研究室には一人一台顕微鏡と机があるなど、とてもいい環境で勉強させていただいています。同期生達をみると、先生方にも積極的に質問し、自学自習にも力を入れるなど、学生一人一人の意識も高く、学生同士、切磋琢磨し合いながら目標に向かって頑張っています。また日々勉強ばかりで大変ですが、研究室の雰囲気も良いです。例えば、誕生日会や学生同士また先生方にもご参加いただいて食事を開くなど、和気藹々としています。

私は、第16期細胞検査士コース受講生として細胞検査士の資格を得るため、日々勉強に励んでいます。このコースでは、先生方の講義や、顕微鏡を使う実技演習や細胞検査士の試験対策などが行われ、朝の9時から夜の8時まで毎日充実した日々を送っています。

臨床検査技師の国家資格も同時に併せて取得する必要がありますが、医療の現場で活躍されている細胞検査士・医師の方々による医療の最先端の

理学療法学

理学療法士（Physical Therapist：PT）は、おもにからだの動きとその障害を治療対象とする、全国で約8万人の国家資格による専門職です。救命救急センターから在宅まで、運動器や神経系、呼吸循環代謝障害にも、そして超低出生体重児から超高齢者まで、あらゆる場面で患者と向き合い、臨床、研究、教育と活躍の場が広がっています。

理学療法学専攻

P T

Physical Therapy Course

研究者紹介

新生児集中治療室における理学療法

理学療法学専攻 講師 横山 美佐子

私は、昭和61年4月に北里大学病院に理学療法士として入職し、一度北里大学から離れましたが、ご縁があり平成13年4月に北里大学病院にもどりました。その後、平成18年4月に本専攻に着任いたしました。北里大学から離れた間も北里関連の医院に勤めておりましたので、北里スピリッツは根付いていると思っています。

さて、本題の新生児集中治療室（Neonatal Intensive Care Unit：NICU）における理学療法についてご紹介したいと思います。NICUは、早産児や低出生体重児、または何らかの疾患のある新生児を集中的に管理・治療する部門であります。このNICUにおける理学療法が確立されてきたのは最近のことですが、私は幸いなことに新人の頃からNICUでの理学療法の意義をチーム医療の中で学ぶ環境があり現在に至っています。ヒトは、子宮内で無重力の中で運動し、すべての器官が成長し重力下で生きる準備をして生まれてくるはずですが、早産児は、あらゆる機能が未発達であります。そこで、NICUにおける



26年前の私と小児理学療法の魅力を教えてくれたAくん

理学療法では、重力下で、どのようにしたら未発達の運動器や神経系、呼吸循環機能などがより良く発達するかを考えることが基本となります。そして、それぞれの子どもの病態を評価し、それに即した理学療法を提供していきます。写真の子は、1歳を過ぎているにもかかわらず、頸が座っていないでした。人工呼吸器の自己抜管予防のため四肢・体幹を動かさないようにしていたことが原因と考え、抱っこから身体運動を促すことで徐々に運動は発達し呼吸状態も改善、歩行が獲得できました。今後は、小児理学療法を科学的根拠に基づいた治療方法として確立させ、子どもも家族も幸せになれる提供ができるよう研究を重ね、教育でも理学療法の魅力を伝えていきたいと考えております。

生介紹介

PT専攻で学んだこと

理学療法学専攻4年 夏野 翔平

私たちが所属する理学療法学専攻では1年次は一般教養、2年次からは専門科目の基礎知識を学びます。3年次から専門的な科目に加えグループでの臨床実習が入り、4年次におよそ4ヶ月間の臨床実習を行います。臨床実習後には卒業研究を進めていきます。

私は、4年次の臨床実習が学生として大きく成長できたものであったと感じました。特に、患者様1人1人の出会いが自分を成長させてくれる素晴らしい経験であったと感じました。また、患者様の毎日の小さい変化を今まで以上身近に感じることができ、患者様とその感動を共有できるとい



3年次集合写真

うことは実習でしか体験できないものであったと思います。実習先の理学療法士の先生方からも多くのご指導をいただきました。私は臨床実習では患者様の疾患や症状、障害ばかり着目していました。その時、患者様の退院後の生活を想像し、疾患ではなく患者様を見ることが重要であると改めて教えてもらい先生方のご指導に本当に感謝しています。

また私は、同じクラスの友達からも多くの影響を受けました。理学療法学専攻は1年次からクラス単位の授業や実習が多いため、テストや実技試験でも協力して勉強する機会が多くありました。そのなかで、様々な知識や考え方を共有でき、友達から学ぶことも多くありました。

4年次の臨床実習が終われば大学生生活も残り半年です。卒業後は就職や大学院に行くなどお互いの道を進むこととなりますが、大学生活中の出会いはもちろんのこと、これから出会う患者様および、理学療法士の先生方との1つ1つの出会いを大切にしていきたいと思っています。

研究
交流

第4回医療衛生学部教員研究交流会報告

研究委員長 池田 憲昭

医療衛生学部教員研究交流会は、平成18年2月に第1回が開催されて以来、「研究活動の活性化を図るための研究会」として隔年開催されています。今年度はその第4回として、平成24年3月19日(月)の午後に、A3号館3F・33番講義室(発表会)および5F・理学療法学多目的実習室(ポスター展示)を使って行いました。

今回は、研究委員会の次年度重点計画である「学内共同研究の推進」の一環として、「共同研究のすすめ」をテーマとしました。各研究グループにより、その研究内容とともに共同研究のために提供できる資源(知識、技術、機器、データ等)および必要とする資源についてショートプレゼンテーションを行った(写真1)のち、ポスター展示会場での討論と懇親会を行いました(写真2)。



写真1 各研究グループによるプレゼンテーション(発表者は著者)

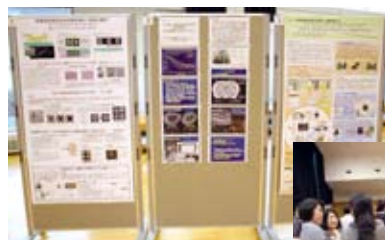


写真3 ベストプレゼン&ポスター賞を獲得した診療放射線技術科学専攻のポスター



写真2 懇親会

ました(写真2)。参加者は、教員108名、職員8名、院生29名、学生7名、その他6名の計158名でした。日曜日と祭日の間の日であったにもかかわらず多数の参加者がありました。

各賞受賞者は以下の通りでした。

①ベストプレゼン&ポスター賞…診療放射線技術科学専攻(写真3)、②学部長賞…作業療法学専攻、③研究委員長賞…理学療法学専攻。

今回は特別講演をやめ、約100分の時間を使ってすべての研究グループによるプレゼンテーションを行いました。抄録集を作成し、記録にとどめましたので、今後の共同研究の推進に役立てていただければと考えます。

防災
訓練

平成24年度相模原キャンパス総合防災訓練を終えて

事務室 保田 明夫



5月14日(月)に、平成24年度相模原キャンパス総合防災訓練が実施されました。当日は、風の強さが多少気になったものの、晴天に恵まれ、キャンパス全体で2000人を超す参加者の大規模な訓練となりました。

当日は、北里自衛防災隊長の指揮のもと、震度6強の地震発生からA3号館2階臨床工学実習室での火災の発生を想定し、情報班・避難誘導班・消火班・安全指導班・救護班・応急物資班の6つの班に分かれ、学生・教職員の安全を第一目標に、本番さながらの真剣さで訓練に挑みました。大筋のシナリオが昨年とほぼ同じだったためか、はたまた過去の訓練から約半年しか経過していないためか、各班員はスムーズに自分の役割をこなしており、まだまだ余力十分と

いった感じでした。それにしても驚いたのは、我が医療衛生学部教職員の防災に対する意識の高さです。昨年の東日本大震災から1年が過ぎましたが、訓練前の全体打ち合わせ時の熱気、当日の自発的な行動から、昔と違い皆が防災訓練の必要性を感じているのがひしひしと伝わってきました。

訓練の内容自体はまだ改善の余地があり、終了後も防災対策委員を通じてたくさんのご意見をいただいております。この皆さんの真剣な取り組みに込めるには、来年はもっと念入りの台本、すなわち良い脚本家が不可欠なところだと思っています。新隊長に就任された廣瀬先生！昨年まで消火班で凝ったシナリオを作られていたね。これからは是非とも全体の分もよろしく願います！



学部長の任期を終えて



石原和彦 教授
昭和51年北里大
学医学部講師。
平成10年医療衛
生学部教授。
定年退職後、保
健衛生専門学院
長就任

教育委員、研究委員、運営委員など学部内での主要な委員を一度も務めたことのない者が四年前、突然、学部長になりました。まさに素人学部長の誕生でした。大過なく、この六月末に任期を終えられたことを不思議に思います。教授会の方々、学部事務の方々を初めてとして、多くの人に支えて頂いたからこそ無事に業務を終えられたと思います。今更ながら関係各位に感謝申し上げます。

学部長在任中の最大のイベントは、3・11の大震災に関わるものでした。その日私は京都で小さな学会を主催していたため、地震発生の時にはキャンパスに居りませんでした。翌朝大学に戻り、オープンキャンパス行事に参加しましたが、当然ながら来訪者は僅かでした。大学を挙げて三陸キャンパス救助に向かうなか、18日の理事会で卒業式の中止が決定されました。しかし学部単位で何らかの行事をすることは容認されました。会議後直ちに白金から相模原に戻り、学部独自の卒業生を送る行事の相談を開始しました。教員と事務が一体になった努力の結果、21日に、L1号館の大講義室で学部卒業式が挙行されました。式辞は

学部長、送辞は丸山弘子先生、卒業生はリクルートスーツ着用という異例づくめの内容でした。文字通り手作りの式でしたが、卒業生には人生の区切りとなる思い出深い式になったと思います。

オープンに学部運営を進めたいとの考えから、自ら指示を出すことはせず、学部教職員で知恵を出し合って施策を立案・実行するようにしました。それがプロジェクト制でした。健康科学科の組織見直しに関してはプロジェクトHSを立ち上げ、運営委員と学科教授の協議に委ねました。その結果「コース制」という広報的に見て学科をアピールできる改革案が出されました。これに併せて環境分野（サステイナビリティ実践学コース）および精神保健学分野の教員の新規採用が始まりました。

本学に赴任して36年間を相模原キャンパスで過ごしました。今後このキャンパスは目まぐるしい変貌を遂げていくことでしょう。教職員の皆様には時代の変化を常に先取りし、本学部を良くするためにご尽力頂くことを期待します。



平成24年6月退任記念パーティーにて

臨床工学と私



野城真理 教授
東京生まれ新潟
育ち。18歳以
後47年間、東
京都と神奈川県
に在住。定年退
職後、新潟に戻
る。

大学は工学部に進んだものの進路について迷ったとき、医学に関心があるなら医用生体工学という分野があるとアドバイスしてくださった方があって、それまでまったく知らなかったのですが、おおいに興味を持ちました。

大学院に進学するには成績が足りず、文字認識は脳の機能に関係があつておもしろそうだから、OCRの開発ができそうな富士通(株)に就職しました。今思えば、入社試験ではつきりそう言え、会社は配慮してくれたのではないかと気がします。コンピュータがやりたい、これからはCPUではなくて周辺機器の時代だと、一知半解の知識を振り回したために、周辺機器技術部に配属されましたが、部署は磁気装置課で、ハードディスクの開発が仕事でした。

学部卒でも開発部門に回してくれたのですから、古き良き時代だったのです。しかし、若気の至りで研究をしたくなり、結局卒業研究の指導教官であった恩師に拾っていただいて、東京医科歯科大学の医用器材研究所に入所したのが、医用生体工学の研究に携わった端緒でした。

その当時は臨床工学の少年期で、次第に

領域として形を成していくのに関心を抱き、臨床現場できわめて重要な意味があるという認識を持ちましたが、自分がそこに足を踏み入れるとは予想もしませんでした。しかし、本学部に臨床工学専攻が創設されるにあたって、臨床工学技士制度の生みの親である金井教授(当時上智大学)経由で、渡辺敏教授(現名誉教授)からお誘いをいただきました。今から17年前に赴任しました。

17年間の学部教育を顧みると不十分なことばかりで、汗顔の至りです。しかし、良い学生諸君に巡り合えて(写真参照)、楽しい教員生活でした。17年前に比べれば臨床工学技士は少し世間に知られるようになってきたと思いますが、まだ不十分です。世間に認めさせる一つの方法は、優秀な技士を育てることです。本学部においてもさらにその努力を継続していただくとともに、私もしばらくの間は国家試験の試験委員会で、また非常勤講師として技士教育に携わり、一人でも多くの優秀な臨床工学技士が育つように、微力ながら尽力するつもりです。



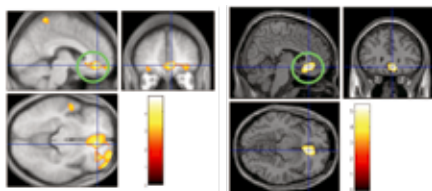
平成23年3月ハイアットリージェンシー東京(新宿)にて。専攻ミニ謝恩会。私がクラス主任だった卒業生諸君とともに。

研究最前線

情動制御異常に関する脳神経機構の解明と
新たな心理介入法の開発を目指して講師
袴田 優子

健康者102名
左上：矢状面
右上：冠状面
左下：水平面

健康者140名



情緒不安定な人ではmPFC (内側前頭眼窩部付近) の糖代謝活動が低い

APは何によって決まるのでしょうか。私たちは遺伝的観点から名古屋大学と共同して情動制御と関連の深いモノアミン系神経伝達物質関連遺伝子多型とAPとの関連を検証しましたが、有意な結果は得られませんでした。以後、AP形成の背景には情動制御を司

現代社会はストレスに満ちた時代です。うつ病や不安障害といった精神障害は深刻な社会的問題の一つになっています。一生涯において約20〜25%の人がうつ病を、10〜30%の人が不安障害を経験するともいわれ、女性は男性と比べていずれも約2倍の罹患率を示します。リスク因子は複数存在しますが、私たちは特に、性差と情緒不安定パーソナリティ(AP)に着目し、情動制御異常の発生機序について神経科学、遺伝学、認知科学など様々な観点から検討を行ってきています。

現在、情動制御異常は、mPFCが情動中枢である扁桃体の過活動を抑制できなくなるために生じるとする病態生理仮説が主流となっています。私たちはmPFCを介さずに扁桃体に働きかけ得る心理介入プログラム(CBM)に注目し、米国国立精神衛生研究所(NIMH)との共同研究によりCBMが不安や抑うつを軽減に一定の有効性を持つことを明らかにしました。本学では、CBMの日本での導入の可能性とその神経作用機序についてランダム化比較対照試験を通じた検証を行っています。今後、教育・臨床はもちろんのこと、国際社会に発信できる研究者となり臨床実践に役立つ研究ができるよう精進してまいります。

若手研究者

作業に焦点を当てた作業療法を臨床応用
可能なエビデンスへ作業療法学専攻
助教
長山 洋史

私達が進めている研究は、作業選択意思決定支援ソフト(Aid for Decision-making in Occupation Choice: ADOC)というソフトを用いた作業に焦点を当てた作業療法の効果と費用効果について無作為化比較試験を用いて検証することです。作業療法では、クライエント(患者、利用者)が、大切にしてきた作業や意味のある作業を実現化できるように治療・訓練・援助します。その為には、クライエント自身が作業療法の目標設定への参加が必要となります。しかし、クライエント自身が、作業療法やリハビリテーションの目標設定に参加することは様々な障壁があり、クライエント自身も自分自身の目標を言いにくいことなどの問題点がありました。そのような背景から、iPadアプリケーションであるADOCが開発されました。ADOCでは、クライエント自身がイラストを選択していくことによって、希望する目標をシステムティックに決定することが可能となり、作業に焦点を当てた介入が可能となると考えられます。



ADOC使用場面

adults: A randomized controlled trial. JAMA 1997;278:1321-1326.)があります。しかし、この研究で介入に携わった作業療法士は、180時間以上の専門の教育を受けた作業療法士であったり、作業科学という理論に精通した作業療法士によって行なわれたという非常に限定された作業療法士によって行なわれた介入でした。したがって、本国にそのまま臨床応用することが困難です。

私達の研究では、ADOCというソフトを使うことで、作業療法士であれば誰でも作業に焦点を当てた介入を行うことができるという点が独創的であり、臨床応用が容易であると考えられます。これらの研究を遂行するにあたり、高度な統計的知識や疫学的知識が必要となり、様々なご助言を頂けたらと存じます。今後とも宜しくお願い致します。

気になる最新医療⑤

本当は怖い心房細動

リハビリテーション学科 理学療法字専攻
東 條 美奈子

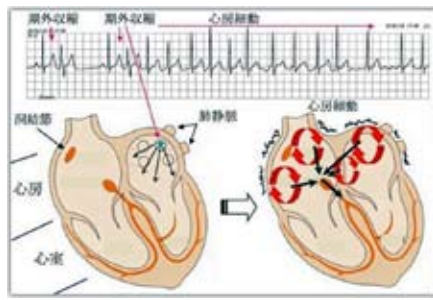


図1. 発作性心房細動が起こるメカニズム

脈の乱れる病気を『不整脈』と呼びますが、今回はその中でも、頻度の高い『心房細動』をご紹介します。と思います。心房細動では、心臓の一部である心房がブルブルと不規則に震え、心臓の機能が低下します。高齢になるほど心房細動の患者さんは増えますが、一時的に心房細動が起こる『発作性心房細動』(図1)は、中年から起きやすくなります。特に、高血圧や睡眠時無呼吸、肥満の方に起きやすく、飲酒・ストレスを引き金に発作回数が増え、適切な治療をしないと、加齢とともに慢性心房細動に移行する方が少なくありません。

心房細動が起こると、少しの労作で心拍数が上昇し、息切れや動悸を自覚します。また、心拡大を来とし、心臓弁膜症を生じ、慢性心不全の状態となります。でも、実はそれ以上に恐ろしいのは、心房内に生じた血の塊(血栓)が脳梗塞(脳塞栓症)を引き起こすことです(図2)。特に心房細動の患者さんでは、脳梗塞の再発リスクが高く、10年間で約半数の患者さんが再発し、重症化することが明らかになっています。



図2. 左房内血栓(矢印)の経食道心エコー所見

律維持」「心拍数調節」、そして脳梗塞予防のための「抗凝固療法」の3つです。大規模臨床試験の結果では、「洞調律維持」にこだわるよりも、むしろ「心拍数調節」が患者さんの予後に重要であるという報告が多く、徐拍化を

目的にβ遮断薬などが処方されます。しかし、自覚症状の強い症例では、その他の抗不整脈薬や、心臓カテーテルによる電氣的焼灼術が選択されます。

「抗凝固療法」については、古くからワーファリン®が推奨されていますが、納豆やビタミンKを多く含む食品の摂取制限が必要なことや、高用量のワーファリン®を飲んでも効果の少ない患者さんのいることなどが問題となっていました。近年、ワーファリン®に代わる新薬(直接トロンビン阻害薬やXa阻害薬)が登場し、より安全で確実な抗凝固療法の可能性が期待されています。

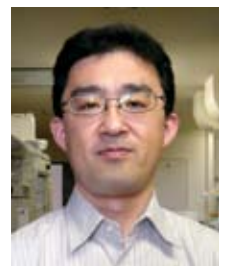
グランドミステリー・パンデミックフルー

その6 リーサルヴァイラス

森羅 星辰

糟屋はさつそく1918株のウイルス性状を調べた。孵化鶏卵に接種すると鶏胚を殺し、マウスへの経鼻感染で1週間以内に殺滅する能力があった。通常、人インフルエンザの流行株は、孵化鶏卵に接種しても鶏胚を殺さずマウスも殺すこともないが、人への病原性がなくなるとマウスを死に至らしめるようになる。今度はサルに接種してみたところマウスと同

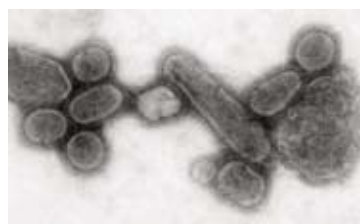
じ運命を辿った。サルの肺は大量の血まみれの液体で満たされていた。感染したサルの肺組織で何が起きたのか?。そこにはサイトカインストームという現象が起きていた。「本来なら宿主を防御する機構が仇になってしまった。おそらくヒトも例外であるまい……。」と独語した。1918株がどのようなにしてこの世に現れたのかはウイルスを構成している8本の遺伝



木村 武俊

リレーコラム

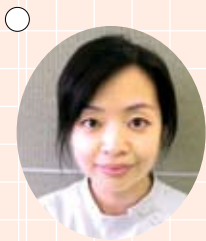
い……。」と思つたらツーリングへ。渋滞を抜けて高速へ、飛ばすベントンを振り切ると次は風との戦い。風圧に負けず必死にグリップを握ります。メットと車体にあたる風で振動が激しく視界が狭まります。風景を観る余裕はありません。さらにちよつとした路面の凹凸であつという間に2車線飛び越え路側帯!これでは運転も楽しくないので最近では嗜好を変えて服装や乗車姿勢、コーナリングを重視して富士山周辺で人馬一体に。行き交うライダー同志で挨拶し、ラーメンを補給しながら情報交換。さああなたも風になりませんか。



再構成されたスペイン風邪A型インフルエンザウイルス(1918株)
(写真: CDC提供)

子を解析し、分子系統樹を作製すればいい。また病原性についてもリバースジェネティクス法を用いて様々なウイルスを作製し、そのウイルスの性質を調べることにより大分解ってきた。(つづく)

新 教 員 紹 介



作業療法学専攻 講師

成 田 香代子

本年度4月より作業療法学専攻の講師として着任いたしました。北里大学医療衛生学部5期生として卒業した後、同大学院修士課程を経て、米国ボストン大学大学院博士課程へと進み博士号取得後帰国、北里大学東病院にて約4年間作業療法士として臨床業務に携わりました。生まれも育ちも、生粋の北里っ子です。米国では、助手として研究や教育、付属病院でのリハビリ業務を経験する機会にも恵まれました。今後は教員として、国内外での経験を生かし、学生さんが興味を持って主体的に取り組めるような学習機会を提供していきたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



健康科学科 環境衛生学 講師

井 上 大 介

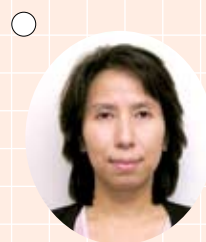
平成24年3月に健康科学科環境衛生学の講師に着任いたしました。平成13年に大阪大学工学部環境工学科を卒業し、同大学大学院工学研究科で博士(工学)を取得後、特任研究員、特任助教として、環境・エネルギー工学分野の研究・教育に携わってきました。研究では、廃水処理や環境浄化、資源・エネルギー生産に係る微生物群の挙動解明と、その高度利用に取り組んでいます。これからは、研究を通じて私達の健全な生活の維持、持続可能な発展に貢献していくとともに、幅広い知識と多角的な視野を備えた見識ある人材の育成に励んでいきたいと考えております。ご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願いいたします。



医療検査学科 臨床細胞学 助教

荒 井 ゆり子

本年度4月より医療検査学科臨床細胞学の助教として着任いたしました。北里大学卒業後、慶應義塾大学病院で臨床検査技師・細胞検査士として病理・細胞診検査業務に従事してきました。今後は、これまでの臨床経験を活かし、実践的な知識や技術を教えるだけでなく、実際に自分が臨床の現場で感じたやり甲斐や面白さなども学生の皆さんに伝えていければと思います。学生とのコミュニケーションを大切に、高度な専門知識とチーム医療を行う上で必要な協調性を持った人材の育成ならびに研究活動に一生懸命取り組んでいきたいと考えております。今後ともよろしくお願い致します。



診療放射線技術科学専攻 講師

ティ ティ ルイン
THET THET LWIN

平成24年4月より診療放射線技術科学専攻の講師として着任いたしました。1986年にヤンゴン第一医学大学(ミャンマー)を卒業し、ミャンマーで内科と外科の研修をした後、一般画像診断と核医学専門医として臨床診断と治療に関する研鑽を積みしました。1997年に研究者として来日し、筑波大学臨床医学系に在籍し、筑波大学大学院医学研究科・博士過程に進み、2003年に「肥大型心筋症の核医学診断に関する臨床及び基礎的な研究」で博士号(医学)を取得し大学院を卒業しました。2004年から2006年まで「放射光X線画像技術を用いた肥大型心筋症の病態解明」の題名で日本学術振興会特別研究員に選出され、人間総合科学研究科、筑波大学で研究活動を行ってきました。臨床経験や基礎的な研究で学んだことを生かし学生さんたちに画像診断を教授し、また、心臓、癌や脳疾患の病態生理学研究に関して研究活動に取り組んで行きたいと考えております。ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



診療放射線技術科学専攻 助教

小 見 正太郎

出身は米どころ新潟県です。4月より診療放射線技術科学専攻の助教として着任いたしました。平成17年3月に北里大学同専攻を卒業。同年4月、北里大学病院放射線部に入職以来7年間、診療放射線技師として勤務し、MRIを中心に担当しておりました。職場を移し、教員という立場で学生の皆さんと接してみて、教育の難しさやその責任の重さを痛感いたしました。しかし、それ以上に教育の魅力も感じる事ができました。現在は諸先生方にご指導いただきながら、教育・研究に日々奮闘中です。3年という短い任期ではありますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

皆様、遅くなりましたがAH S13号をお届けします。世間では震災からの復興や世界的大不況等明るいニュースが多いとは言えません。しかし医療衛生学部内では本号で紹介されているように、若い学生さんが座学ではない臨床実習で学んだ知識、新たな経験に目を輝かせ、そして若手の先生方が勉学、研究に勤しんでいる記事、一方で大先輩の貴重なお言葉も大変有難く、非常に嬉しく思いませんか。皆様、ご多忙の中原稿を本当に有難うございます。

編集後記

編集委員会
委員長 石川 均
委員 大場 謙一
原 和 矢
氏 政 伸
河 晃 依
野 田 子
保 田 明 夫
井上 富美子